

一つ拍子体験学習会 7月8日(金)

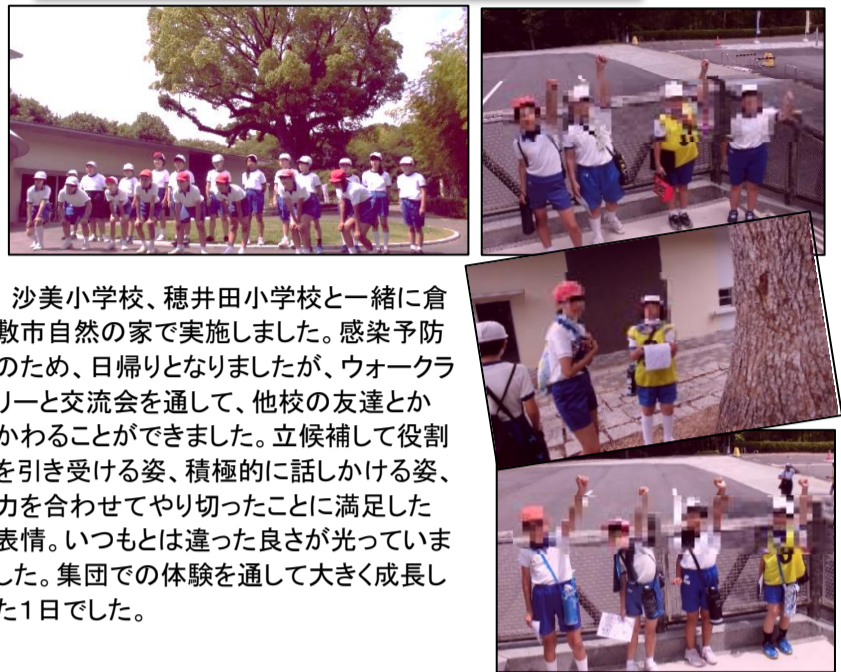
伝統は、人から人へと長い時間をかけて受け継がれていきます。伝統のほとんどは、形として残すことが難しい技や文化です。その担い手となるチャンスは誰にも与えられるものではありません。

南浦には一つ拍子踊りという大切に守ってこられた伝統があります。今年も、「総合的な学習の時間」の一環として、地域の方々をお招きして体験学習会を実施しました。集まってくださった方々の人数の多さから次世代を担う子どもたちへ一つ拍子を伝承したいという熱意を感じました。毎年、繰り返し体験することで南浦の伝統が子どもたちに少しずつ受け継がれていくのだと思います。

教職員も一緒に体験させていただき、南浦の奥深い文化の一端に触れることができました。



山の学習 6月24日(金)



沙美小学校、穂井田小学校と一緒に倉敷市自然の家で実施しました。感染予防のため、日帰りとなりましたが、ウォークラリーと交流会を通して、他校の友達とかわることができました。立候補して役割を引き受ける姿、積極的に話しかける姿、力を合わせてやり切ったことに満足した表情。いつもとは違った良さが光っていました。集団での体験を通して大きく成長した1日でした。

着衣泳 7月15日(金)



熱中症対策や雨天のため、たびたび日程変更をしなければならなかった水泳学習ですが、無事に予定していた5回を終えました。最終回は、安然確保につながる学習として着衣泳を実施しました。服を着たまま水の中に入ると、思うように歩いたり、泳いだりできないことやかなりの体力を消耗してしまうことを体験した後、救助を待つ間、ペットボトルの浮力を利用して、より長く背浮きできるよう練習をしました。最初は苦戦していましたが、次第にコツをつかんでいきました。

水辺での事故に遭わないよう行動することが一番大事ですが、もしも事故に遭遇しても、自ら助けに行くのではなく、大人の助けを呼ぶことが大切だと学ぶことができました。

いい声・いい顔・いい姿

4月の始業式に、「いい声・いい顔・いい姿」いっぱい南浦小学校にしよう子どもたちに話をしました。教職員全員で見つけあった子どもたちの「いい声・いい顔・いい姿」を校長室前の掲示板に貼りためてきました。4か月間で掲示も徐々に増えてきています。相手の名前を付けたり、自分から進んで声を出したりしている挨拶のいい声。難しい課題でもあきらめず取り組もうとするいい顔。下級生を思いやって手助けをしようとするいい姿。掲示を見返すと、子どもたちの成長を感じることができます。

いい声は、「協調性」や「コミュニケーション力」といった「**他者とつながる力**」。いい顔は、「忍耐力」や「レジリエンス」といった「**自分と向き合う力**」。いい姿は「意欲」や「自信」といった「**自分を高める力**」といった**非認知能力**の獲得と大きく関連していると考えています。

これからも、子どもたちの「いい声・いい顔・いい姿」が増えていくよう指導や支援をしていきたいと思ひます。



くるま出前講座 7月6日

高学年の社会科では、様々な産業について学習をしています。教科書では、工業を学ぶ題材として、自動車製造が取り上げられています。経費の面などから実際に見学することが難しいため、三菱自動車から出前講座に来ていただきました。工場の様子を映像で見せていただいたり、それぞれの工程で着用している装備を身に付けさせていただいたり、ねじ締めやねじ選別を体験させていただいたりしました。たくさんの工夫があることを教えていただきました。

